

体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル

1 .	チェックリスト作成の流れ	...	2
2 .	マクロの有効化	...	3
	【Microsoft Excel2007セキュリティ設定 変更方法】	...	3
	【Microsoft Excel2010セキュリティ設定 変更方法】	...	5
	【Microsoft Excel2013、Microsoft Excel2016セキュリティ設定 変更方法】	...	7
3 .	ファイルダウンロード	...	9
4 .	入力時の注意	...	9
5 .	画面説明	...	12
	Ⅰ 機関情報画面(シート名「機関情報」)	...	12
	Ⅱ チェック項目入力画面		
	(シート名「チェック項目(第1節・第2節)」～「チェック項目(第5節・6節)」)	...	15
	Ⅲ 不正防止取組事例入力画面		
	(シート名「不正防止のための実効性のある取組事例」)	...	19
	Ⅳ 資料・データ一覧入力画面(シート名「根拠となる資料・データ等一覧」)	...	21
	Ⅴ 内部監査の実施状況画面(シート名「内部監査の実施状況」)	...	22
	Ⅶ 研修会・説明会の実施状況画面(シート名「研修会・説明会の実施状況」)	...	23
6 .	一時保存(上書き)	...	24
7 .	内容チェック	...	25
8 .	提出用ファイル作成	...	27
9 .	印刷	...	29
10 .	行の追加	...	30
11 .	行の削除	...	32
12 .	最終保存時にエラーが発生した場合の対応		
	【Microsoft Excel2007、2010、2013、2016】	...	34
	【Microsoft Excel2007、Microsoft Excel2010 手順】	...	36
	【Microsoft Excel2013、Microsoft Excel2016 手順】	...	38
13 .	操作に関するお問い合わせ先	...	40

この操作マニュアルは、体制整備等自己評価チェックリストの提出用ファイル作成に関するものです。

本ファイルは、Microsoft Excel2010を活用し作成されています。

そのため、Excelのバージョンによっては、一部の欄がずれて表示される場合がありますが、入力した内容については正常に登録されますので問題ありません。

なお、このファイルはウィンドウズ専用であり、マック版のExcelでは正常に作動しません。

あらかじめご了承ください。

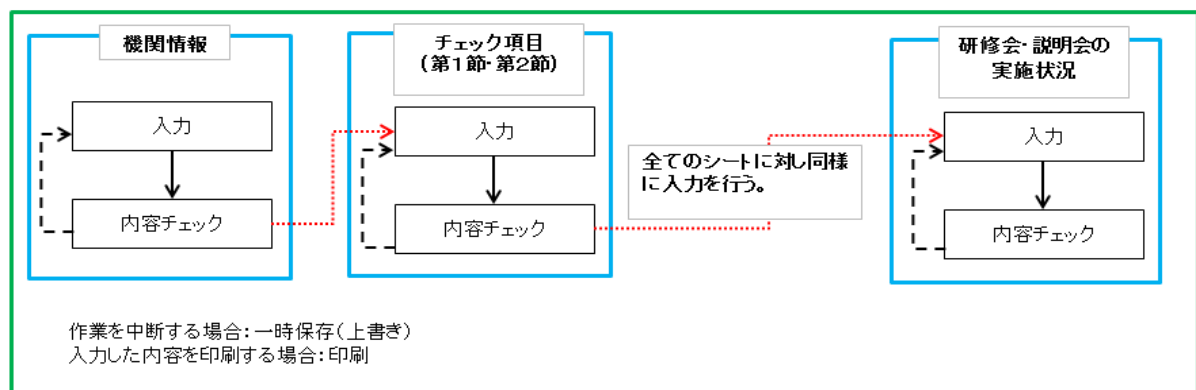
1. チェックリスト作成の流れ

チェックリスト作成の流れは下記の図の通りとなります。

基本的には、機関情報入力シートから入力を開始します。入力後内容チェックのボタンを押下し、不備がないか確認を行ってください。不備がなければ次のシートの入力を行ってください。

入力作業を中断する場合は一時保存ボタンを押下しファイルを保存してください。

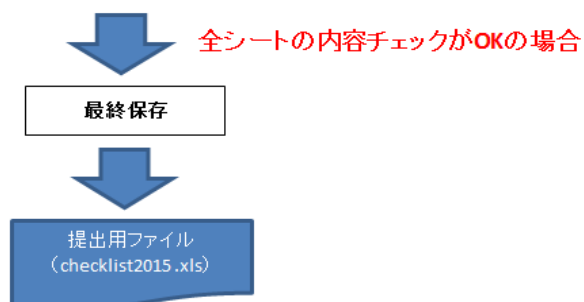
全てのシートで不備がなければ最終保存ボタンを押下し提出用ファイルの作成を行ってください。



→ 後続の作業

---→ 内容チェックがOKの場合

- - -> 内容チェックがNGの場合



2. マクロの有効化

本ファイルには、マクロが使用されています。

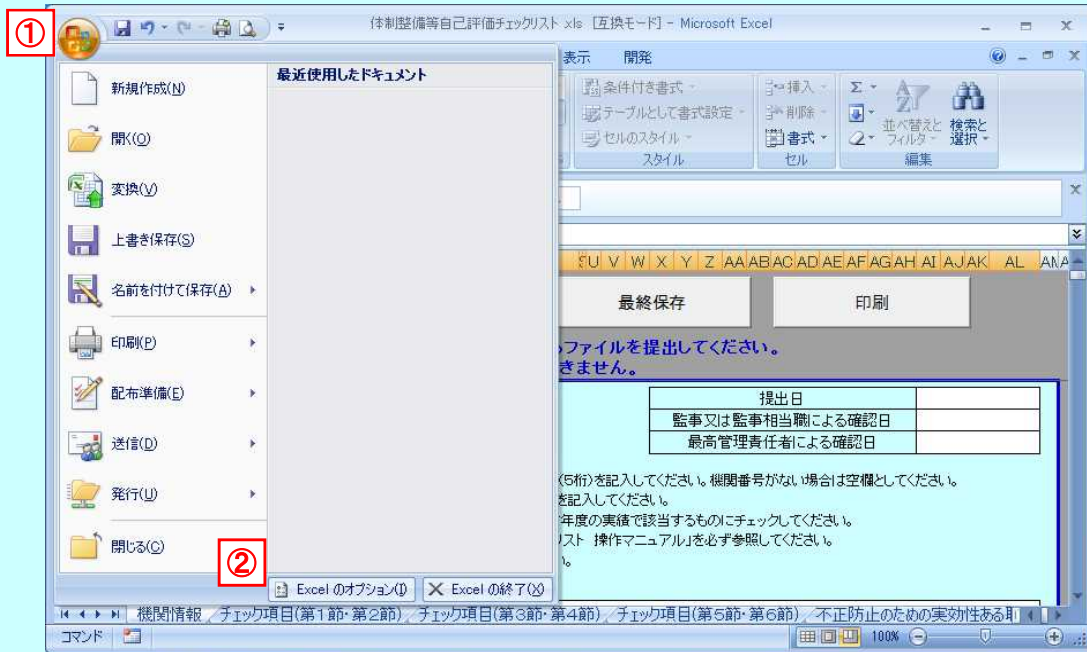
そのため、Excelのセキュリティレベルによっては正常に動作しない場合があります。

Excelのバージョン	2007 ～ 2016
セキュリティレベル	警告を表示せずに～

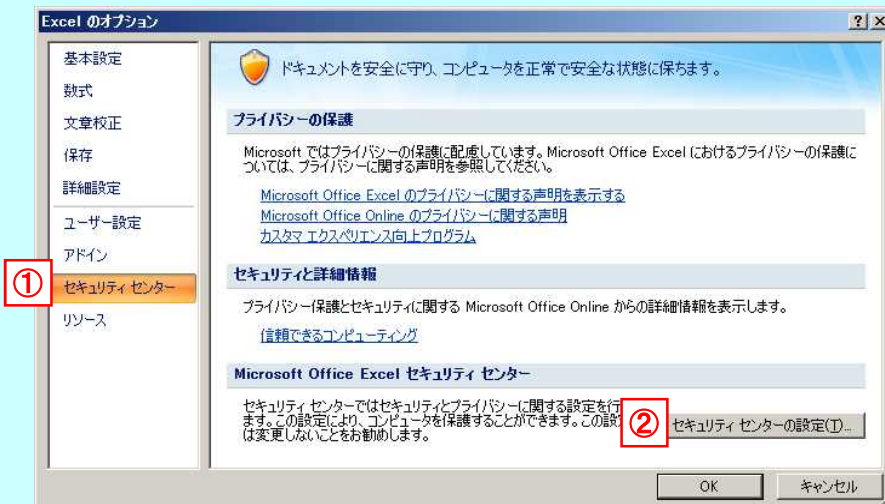
上の表の組み合わせですとマクロ自体が動作しません。セキュリティの設定を確認して下さい。

【Microsoft Excel2007セキュリティ設定 変更方法】

① 「officeボタン ①」→「Excelのオプション① ②」を選択します。

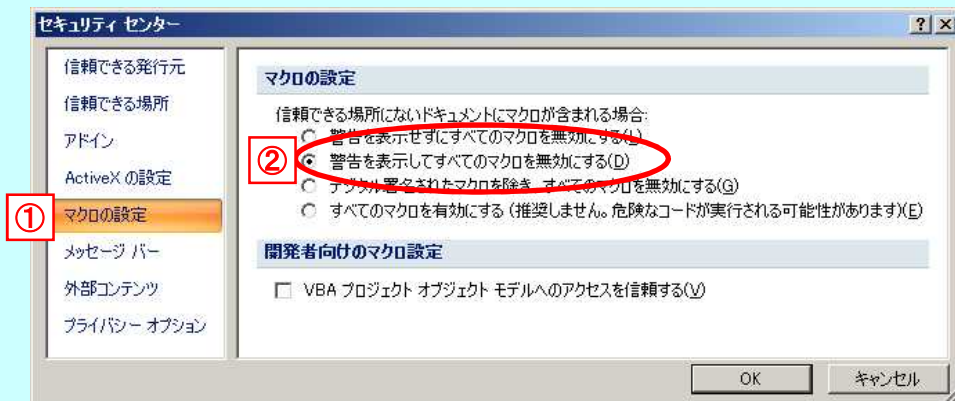


② 「セキュリティセンター ①」→「セキュリティセンターの設定① ②」を選択します。



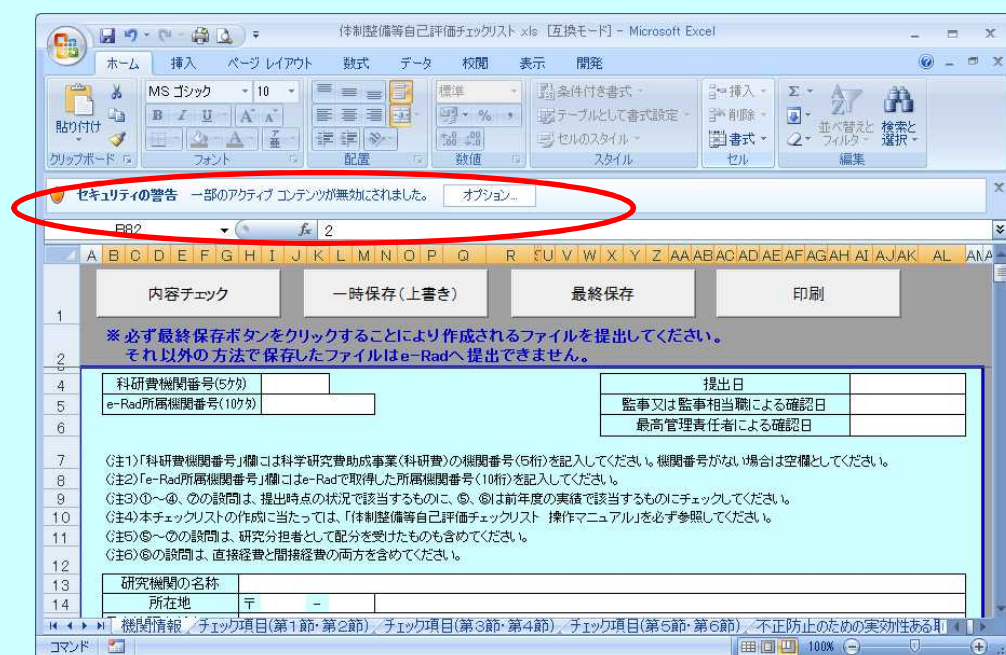
体制整備等自己評価チェックリスト

③ 「マクロの設定 ①」→「警告を表示して～ ②」を選択し、OKを押します。



④ ファイルを閉じて、再度開きます。

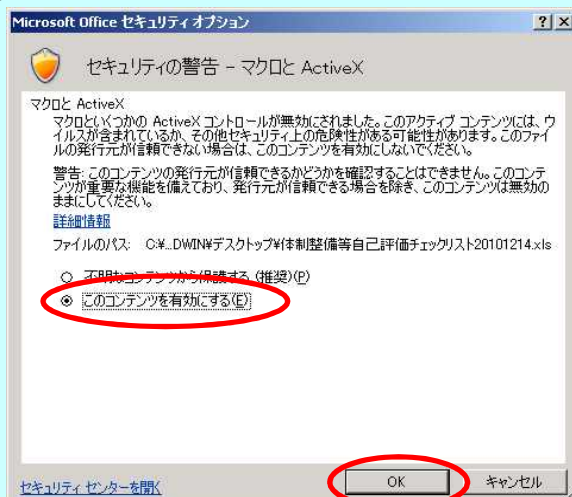
「一部のアクティブコンテンツが無効にされました。」
「マクロが無効にされました。」等の警告が表示されます。



⑤ 「オプション」を選択します。

セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。 オプション...

⑥ 「このコンテンツを有効にする」を選択し、OKを押します。



選択後、マクロが実行されます。

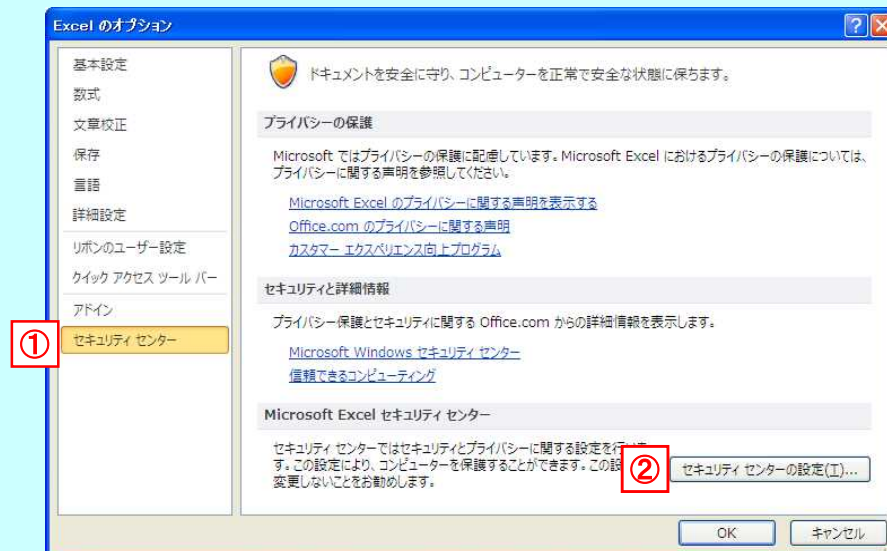
体制整備等自己評価チェックリスト

【Microsoft Excel2010セキュリティ設定 変更方法】

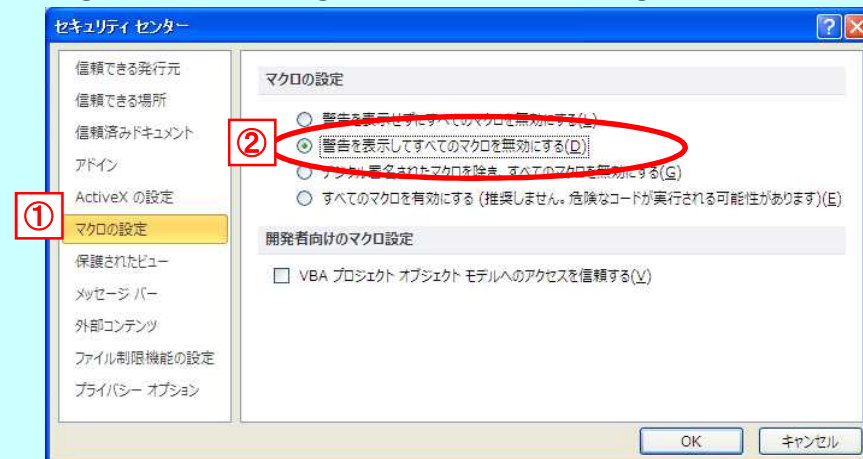
① 「ファイルタブ ①」→「オプション ②」を選択します。



② 「セキュリティセンター ①」→「セキュリティセンターの設定(I) ②」を選択します。



③ 「マクロの設定 ①」→「警告を表示して～ ②」を選択し、OKを押します。

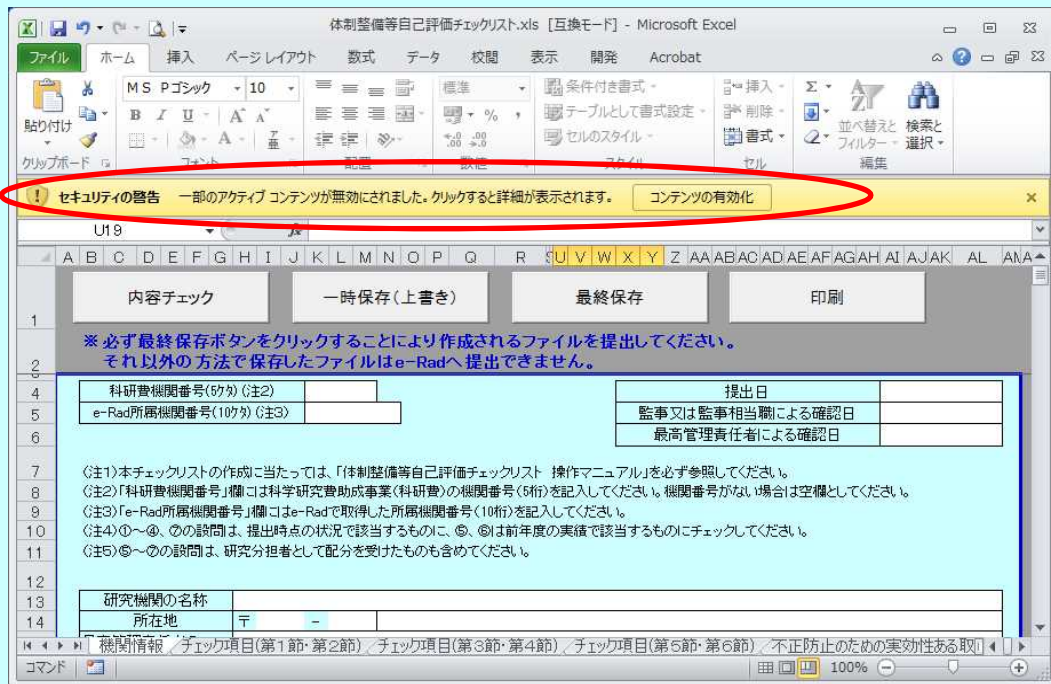


体制整備等自己評価チェックリスト

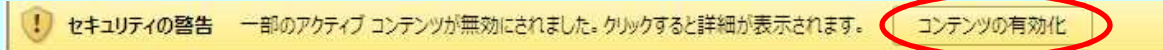
④ ファイルを閉じて、再度開きます。

「一部のアクティブコンテンツが無効にされました。」、

「マクロが無効にされました。」等の警告が表示された場合



⑤ 「コンテンツの有効化」を選択します。

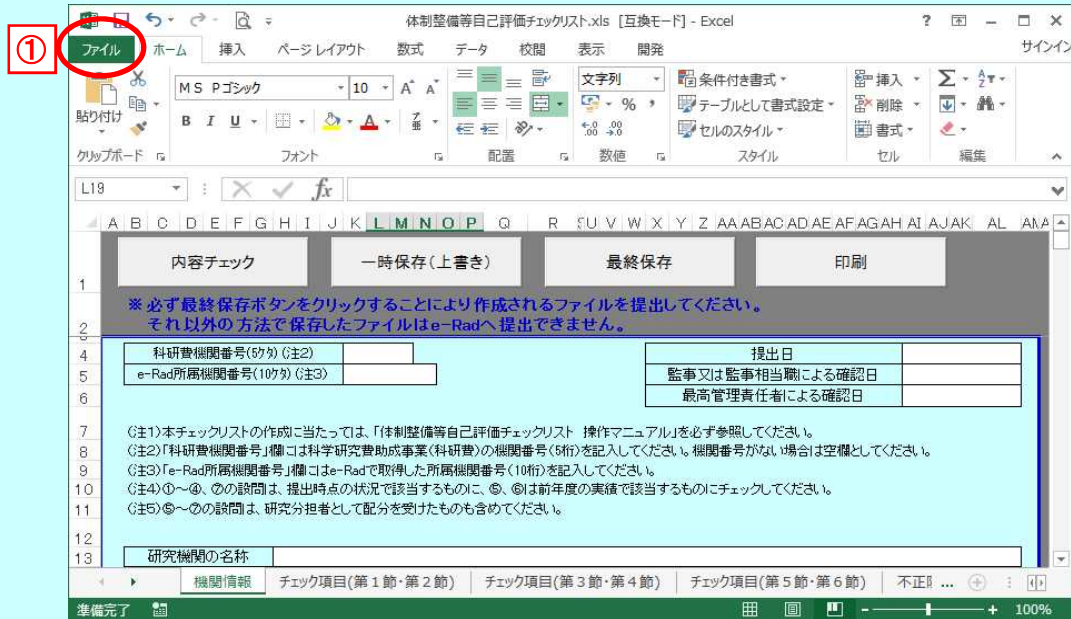


選択後、マクロが実行されます。

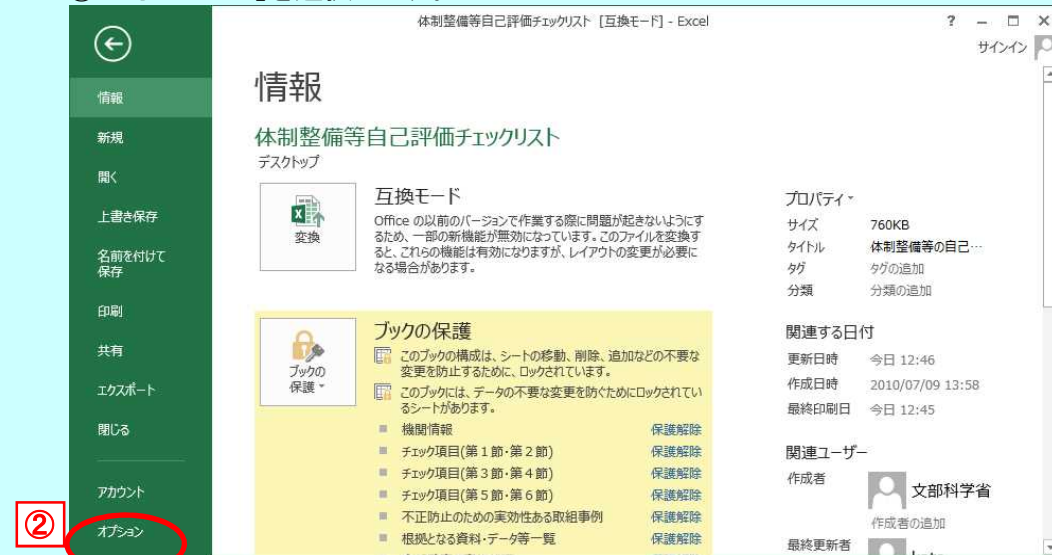
体制整備等自己評価チェックリスト

【Microsoft Excel2013、Microsoft Excel2016セキュリティ設定 変更方法】

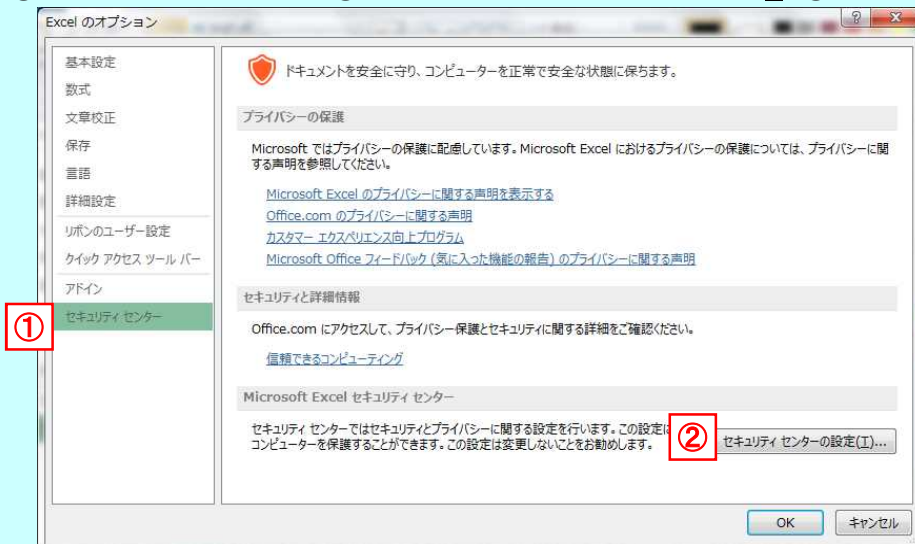
① 「ファイルタブ」を選択します。



② 「オプション」を選択します。

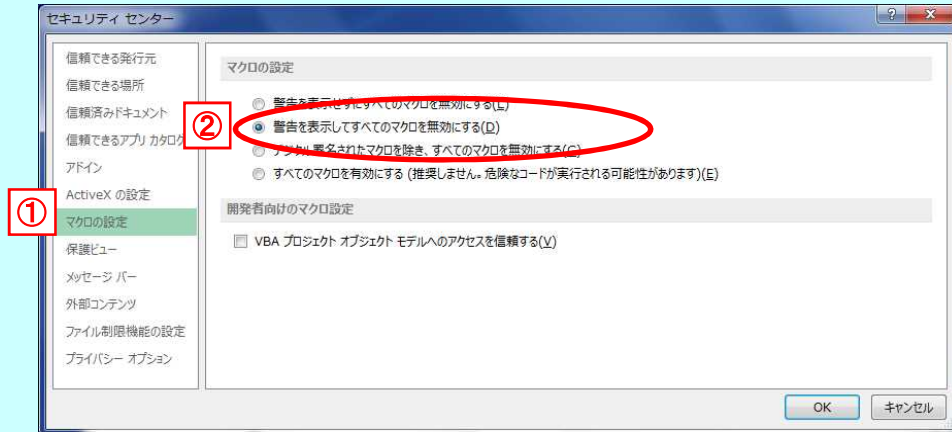


③ 「セキュリティセンター ①」→「セキュリティセンターの設定(I) ②」を選択します。



体制整備等自己評価チェックリスト

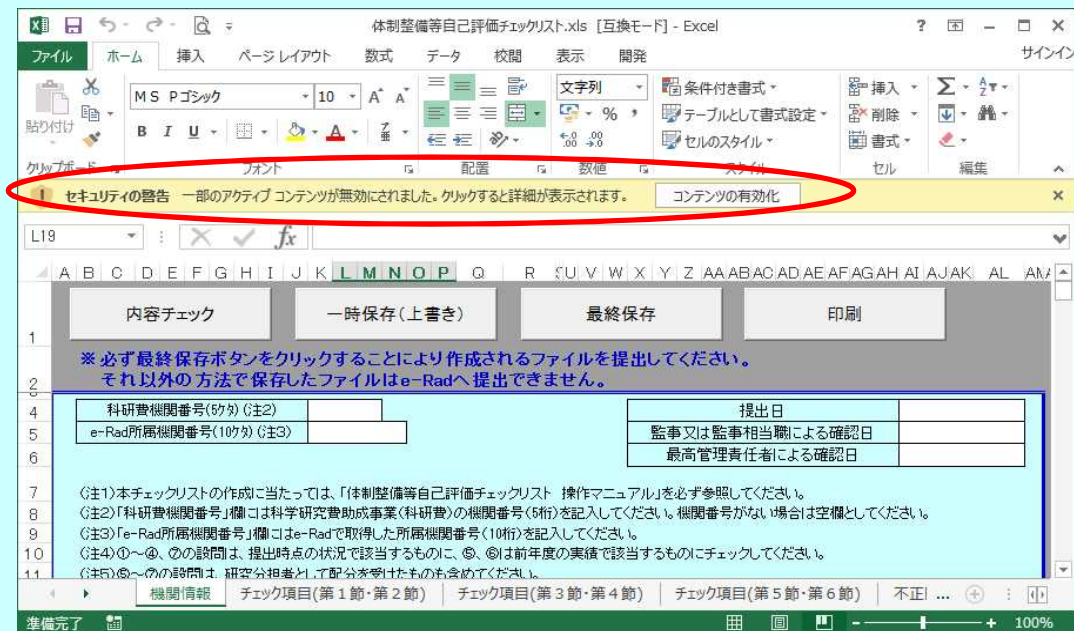
④ 「マクロの設定 ①」→「警告を表示して～ ②」を選択し、OKを押します。



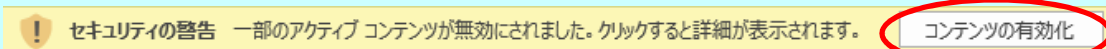
⑤ ファイルを閉じて、再度開きます。

「一部のアクティブコンテンツが無効にされました。」、

「マクロが無効にされました。」等の警告が表示された場合



⑥ 「コンテンツの有効化」を選択します。



選択後、マクロが実行されます。

3. ファイルダウンロード

ダウンロードしたファイルは、入力をおこなう前にデスクトップに保存してください。

4. 入力時の注意

4-1. 拡張子の変更

拡張子を変更すると、設定されているマクロが正常に動かず、再度作成いただく場合がありますので、拡張子の変更は行わないでください。(本マニュアルP34に基づく操作は除く)

4-2. 入力を始める前に

チェックリストにはマクロが使用されておりますが、お使いの環境(OS、Microsoft Excel、機関のセキュリティなど)によっては、マクロが正常に動かない場合がございます。作成後に判明した場合、再度作成いただく場合がありますので、作成を始める際には、「内容チェック」ボタンを操作し、マクロ有効になっていることを確認してください。有効化については、P3をご確認ください。

4-3. 斜線の入っているチェックボックスについて

斜線の入っているチェックボックスは、前のチェックボックスに「1」が記入された場合に、記入可能となります。なお、前のチェックボックスに「1」が記入されているのにも関わらず記入可能な状態とならない場合は、再度「1」を入れなおす操作を試してください。

4-4. シートの入力

各シートの入力欄(白セル、チェック項目(チェックボックス)、記述欄等)への入力は、必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

カーソルが表示されていない状態で、他のアプリケーション(Wordやメモ帳等)からコピーした内容を貼り付けると、入力欄がロック(入力不可となる)され、再び入力することができなくなることがあります。

また、ファイルが壊れてしまい、提出用ファイルが作成できなくなってしまう可能性があります。その際は、新規ファイルで再度初めから作成し直しとなってしまいますので、必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

体制整備等自己評価チェックリスト

カーソルが表示されていない場合は、入力欄上でマウスをダブルクリックするか、キーボードの ファンクションキーのF2 を押下してください。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイル提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

科研費機関番号(9桁) (注2) 提出日
e-Rad所属機関番号(10桁) (注3) 監事又は監事相当職に
最高管理責任者による

(注1)本チェックリストの作成に当たっては、「体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル」を必ず参照してください。
(注2)「科研費機関番号」欄には科学研究費助成事業(科研費)の機関番号(9桁)を記入してください。機関番号がない場合
(注3)「e-Rad所属機関番号」欄にはe-Radで取得した所属機関番号(10桁)を記入してください。
(注4)①～④、⑥の設問は、提出時点の状況で該当するものに、⑤、⑥は前年度の実績で該当するものにチェックしてください。
(注5)①～⑥の設問は、研究分担者として配分を受けたものも含めてください。

研究機関の名称
所在地
最高管理責任者の
職名・氏名

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) チェック項目(第7節・第8節)

カーソル表示例①

最高管理責任者の職名・氏名欄

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイル提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

【ルール-の周知について】 4 ページ

1 204 ルールの全体像を体系化し、競争的資金等の運営・管理に関わる全ての構成員に分かりやすい形で周知している。

分かりやすく周知するために、どのような工夫をしているか、記述してください。

行追加

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) チェック項目(第7節・第8節)

カーソル表示例②

記述欄

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイル提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

根拠となる資料・データ等一覧

「チェック項目」シートにおいて「1」を記入したチェック項目に係る実施状況の自己評価の根拠となる資料・データ等(不正防止計画、等の名称と当該資料・データ等を機関のホームページで公開している場合は、当該資料・データ等を確認できるホームページのURL)を
このシートに記入してください。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合)

No. 項目番号 根拠となる資料・データ等の名称

1 不正防止のための実効性ある取組事例 根拠となる資料・データ等一覧 内部監査の実施状況

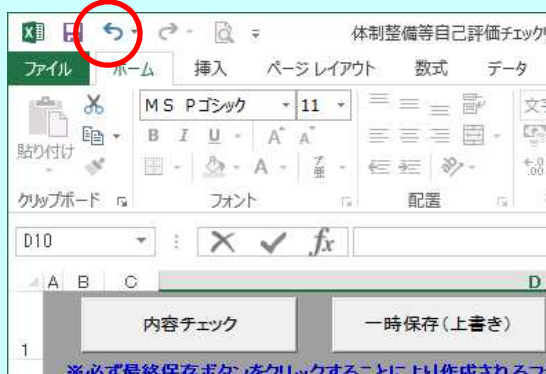
機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) チェック項目(第7節・第8節)

カーソル表示例③

チェック項目以外の記述欄

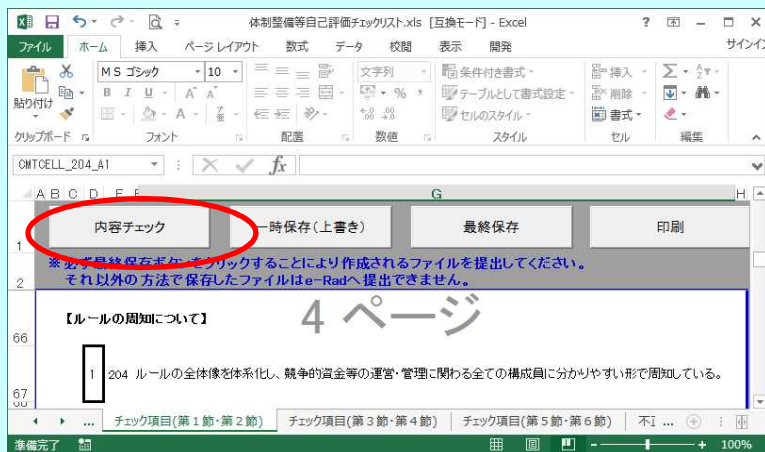
万が一、貼り付けてしまい、入力欄がロック(入力不可となる)された場合は以下の方法を試してください。 ※戻らない場合もあります。

- ① エクセルの「元に戻す」ボタンをクリックし、貼り付ける前の状態の戻します。



「Ctrl + Z」キーを押下した場合も
「元に戻す」ボタンと同じ動作をします。

- ② 内容チェックボタンをクリックする



5. 画面説明

I 機関情報画面(シート名「機関情報」)

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS Pゴシック 10 A⁺

標準 条件付き書式 挿入 削除 書式 セル 編集

グループボード フォント 配置 数値 スタイル

B82

① ② ③ ④

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルをご提出ください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

科研費機関番号(5桁)	12345	提出日	2018/5/25
e-Rad所属機関番号(10桁)	1234567890	監事又は監事相当職による確認日	2018/5/25
		最高管理責任者による確認日	2018/5/25

⑤

※1)本チェックリストの作成に当たっては、「体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル」を必ず参照してください。
 ※2)「科研費機関番号」欄には科学研究費助成事業(科研費)の機関番号(5桁)を記入してください。機関番号がない場合は空欄としてください。
 ※3)「e-Rad所属機関番号」欄にはe-Radで取得した所属機関番号(10桁)を記入してください。
 ※4)①～④、⑥の設問は、提出時点の状況で該当するものに、⑤、⑥は前年度の実績で該当するものにチェックしてください。
 ※5)⑤への設問は、研究分担者として配分を受けたものも含めてください。

研究機関の名称	研究機関名称		
所在地	〒 012 - 3456	機関所在地 1-1-1	
最高管理責任者の 職名 氏名	責任者氏名		

担当者連絡先	課長等名	担当課係等名	氏名	担当者 氏名
電話番号	00-0000-1234	FAX	00-0000-1235	E-mail tanto@email.comXXX

⑥

1 国立大学
2 公立大学

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正 ...

準備完了

機関情報画面 下部

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS Pゴシック 11 A⁺

標準 条件付き書式 挿入 削除 書式 セル 編集

グループボード フォント 配置 数値 スタイル

R58

① ② ③ ④

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルをご提出ください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

貴機関が、次の「チェック項目」シートにおいて、「太線枠のチェック項目」に「1」、「2」の数字を記入した数はそれぞれ、以下のとおりです(次の「チェック項目」シートのチェック状況から自動計算されて表示されます)。

「1」を記入した「太線枠のチェック項目」の数	1
「2」を記入した「太線枠のチェック項目」の数	0

⑦

自動メッセージ表示欄(メッセージが表示された機関は、リスクのある機関として重点的に履行状況調査の対象とする場合があります)

⑧

状況説明欄(自動メッセージが表示された機関は、ガイドラインに基づく体制整備等が終了する予定時期等について記述してください)

⑨

⑩

⑪

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正 ...

準備完了

シートに保護設定を行っております。

そのため、入力以外の操作(行の追加、行の複写等)はできません。

入力欄への入力は必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

「4. 入力時の注意」を参照してください。

① 内容チェックボタン

入力内容に不備がないかチェックを行うときに使用します。

② 一時保存(上書き)ボタン

作業の途中で保存するときに使用します。

一時保存した場合は、現在のファイルに上書きされます。

ただし、提出用ファイル「checklist2018.xls」は、上書きできません。

③ 最終保存ボタン

提出用ファイルを作成するときに使用します。

作成されたファイルは、「checklist2018.xls」のファイル名でデスクトップに保存されます。

④ 印刷ボタン

印刷ダイアログボックスを表示します。

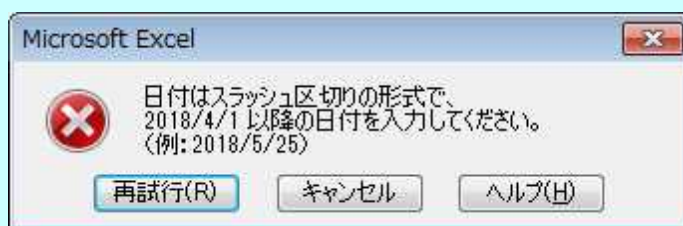
⑤ 基礎情報入力箇所

白セルが入力対象となります。

右上の提出日、監事又は監事相当職による確認日、最高管理責任者による確認日

入力欄は、スラッシュ区切りの日付(例:2018/5/25)以外、または、2018/3/31以前の

日付を入力した場合、下記のようなエラーメッセージが表示されます。



※注意 マウス操作で次の入力項目に移動しない場合は一度欄外を選択してください。

⑥ 詳細情報入力箇所

ラジオボタンが入力箇所になります。(入力できるボタンは項目ごとに1つのみです。)

選択されている行の背景色は黄色に変更されます。

⑥「前年度実績において文部科学省・・・から配分された競争的資金等の金額」において4を選択した場合は、金額を記入してください。(千万単位、百万の位を四捨五入)

⑦ 自動メッセージ表示欄

「2」を記入した「太線枠のチェック項目」の数が0ではない場合、メッセージが表示されます。この欄に入力はできません。

⑧～⑩ 状況説明欄

自動メッセージ表示欄にメッセージが表示されている場合、状況説明欄の入力が必須になります。

状況説明欄は⑧、⑨、⑩のように3つの欄が存在し、

1つの状況説明欄に900文字(合計2700文字)まで入力可能です。

1つの状況説明欄に900文字以上入力した場合、下記のようなエラーメッセージが表示されます。



⑪ 行高調整ボタン

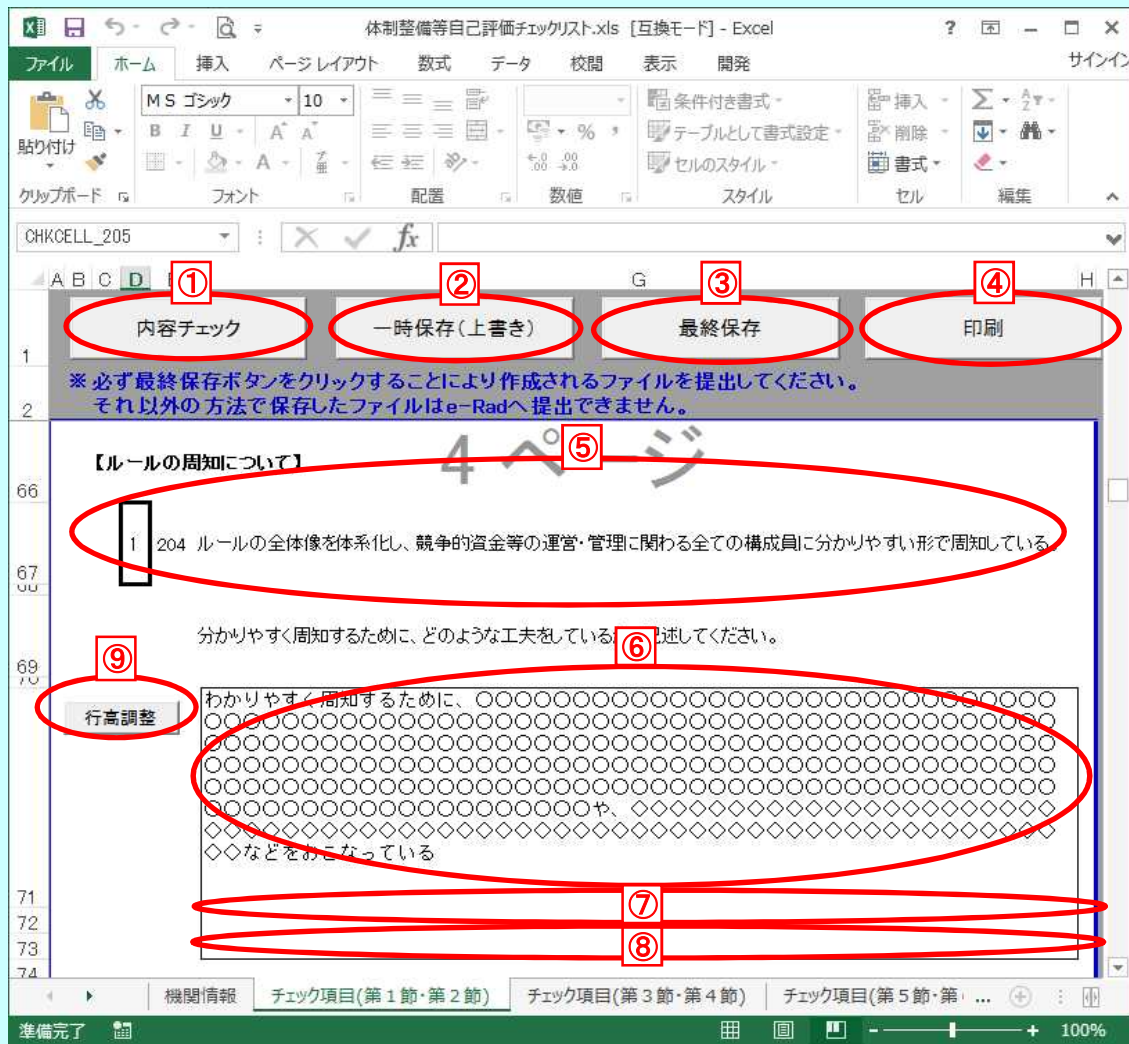
状況説明欄に記述した文字が隠れてしまう際に使用します。

状況説明欄の行数に応じて⑧～⑩全ての記述欄の行の高さの調整を行います。

行高調整ボタンを使用しても印刷時に記述が全て表示されない場合、

記述欄の最後の行で「Alt + Enter」キーを押下し改行を追加してください。

Ⅱ チェック項目入力画面(シート名「チェック項目(第1節・第2節)」～「チェック項目(第5節・第6節)」)



シートに保護設定を行っております。

そのため、入力以外の操作(行の追加、行の複写等)はできません。

入力欄への入力は必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

「4. 入力時の注意」を参照してください。

① 内容チェックボタン

入力内容に不備がないかチェックを行うときに使用します。

② 一時保存(上書き)ボタン

作業の途中で保存するときに使用します。

一時保存した場合は、現在のファイルに上書きされます。

ただし、提出用ファイル「checklist2018.xls」は、上書きできません。

③ 最終保存ボタン

提出用ファイルを作成するときに使用します。

作成されたファイルは、「checklist2018.xls」のファイル名でデスクトップに保存されます。

④ 印刷ボタン

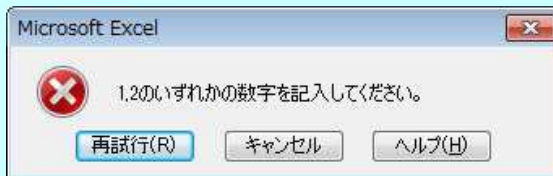
印刷ダイアログボックスを表示します。

⑤ チェック項目入力箇所(チェックボックス)

項目番号左のセルが入力箇所になります。

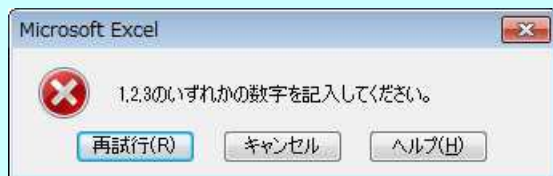
太線枠の欄については、1または2の半角数字のみ入力可能です。

1または2以外の数字を入力した場合、下記のようなエラーメッセージが表示されます。



二重線枠、一重線枠については、1～3までの半角数字のみ入力可能です。

1～3以外の数字を入力した場合、下記のようなエラーメッセージが表示されます。



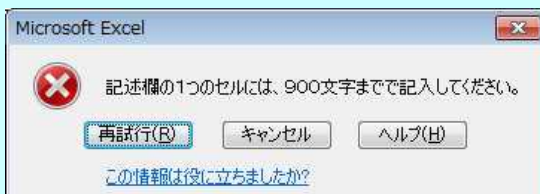
⑥～⑧ 記述欄

チェック項目に1を入力した場合、記述欄の入力が必須になります。

記述欄は⑥、⑦、⑧のように3つの欄が存在し、

1つの記述欄に900文字(合計2700文字)まで入力可能です。

1つの記述欄に900文字以上入力した場合、下記のようなエラーメッセージが表示されます。



⑨ 行高調整ボタン

記述欄に記述した文字が隠れてしまう際に使用します。

記述欄の行数に応じて⑥～⑧全ての記述欄の行の高さの調整を行います。

行高調整ボタンを使用しても印刷時に記述が全て表示されない場合、

記述欄の最後の行で「Alt + Enter」キーを押下し改行を追加してください。

体制整備等自己評価チェックリスト

一部のチェック項目については、前チェック項目の回答によって回答可能になります。
斜線になっている場合は入力できません。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS ゴシック 10

条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル

CHKCELL_412 : 2

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

【物品・役務の発注業務について】

1 411 発注業務

2 412 例外と

412のチェック項目に「1」を記入した機関は、以下の413、414の各チェック項目をチェックしてください。

413 研究者による発注を認める場合は、一定金額以下のものとするなど明確なルールを定めた上で運用している。

準備完了

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS ゴシック 10

条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル

CHKCELL_412 : 1

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

【物品・役務の発注業務について】

1 411 発注業務については、原則として、事務部門が実施している。

1 412 例外とし

412のチェック項目に「1」を記入した機関は、以下の413、414の各チェック項目をチェックしてください。

413 研究者による発注を認める場合は、一定金額以下のものとするなど明確なルールを定めた上で運用している。

準備完了

体制整備等自己評価チェックリスト

記述欄は対応するチェック項目に「1」が入力されていない場合、入力及び選択が行えません。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS ゴシック 10

B I U A A

グループボード フォント 配置 数値 スタイル セル 編集

CHKCELL_204 : X ✓ fx 2

A B C D E F G H

1 内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

2 ※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

66 【ルールの周知について】 4 ページ

67 2 204 ルールの 全ての構成員に分かりやすい形で周知している。

68 分かりや てください。

69 行高調整

71

72

73

準備完了 機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) ... 100%

Ⅲ 不正防止取組事例入力画面(シート名「不正防止のための実効性のある取組事例」)

シートに保護設定を行っております。

そのため、入力以外の操作(行の追加、行の複写等)はできません。

入力欄への入力は必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

「4. 入力時の注意」を参照してください。

① 内容チェックボタン

入力内容に不備がないかチェックを行うときに使用します。

② 一時保存(上書き)ボタン

作業の途中で保存するときに使用します。

一時保存した場合は、現在のファイルに上書きされます。

ただし、提出用ファイル「checklist2018.xls」は、上書きできません。

③ 最終保存ボタン

提出用ファイルを作成するときに使用します。

作成されたファイルは、「checklist2018.xls」のファイル名でデスクトップに保存されます。

④ 印刷ボタン

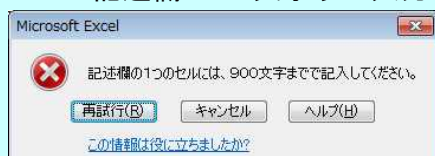
印刷ダイアログボックスを表示します。

⑤～⑦ 記述欄

記述欄は⑤、⑥、⑦のように3つの欄が存在し、

1つの記述欄に900文字(合計2700文字)まで入力可能です。

1つの記述欄に900文字以上入力した場合、下記のようなエラーメッセージが表示されます。



⑧ 行高調整ボタン

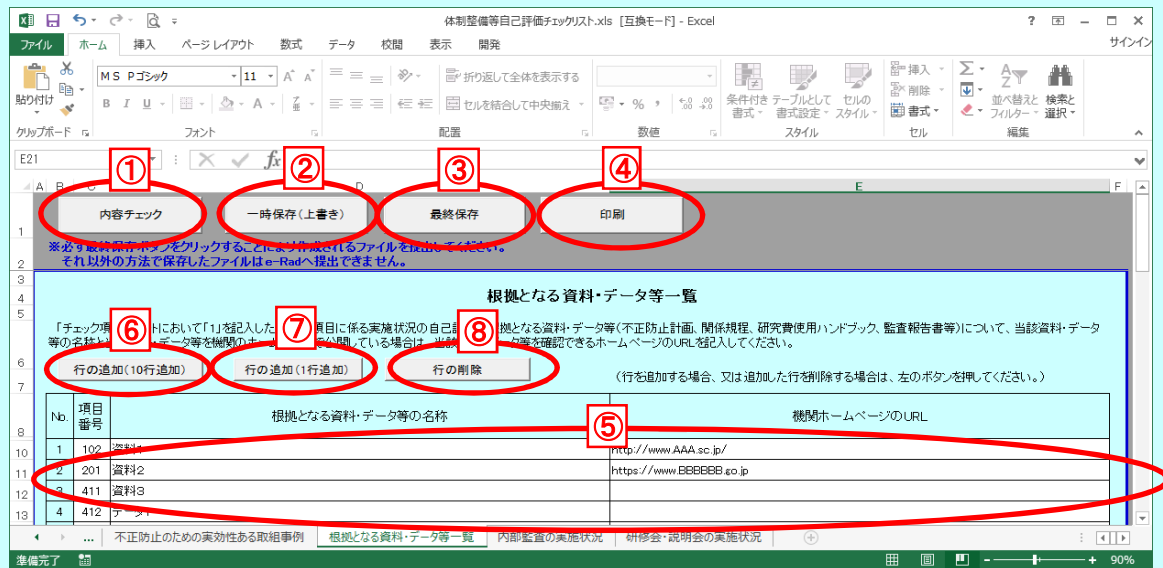
記述欄に記述した文字が隠れてしまう際に使用します。

記述欄の行数に応じて⑤～⑦全ての記述欄の行の高さの調整を行います。

行高調整ボタンを使用しても印刷時に記述が全て表示されない場合、

記述欄の最後の行で「Alt + Enter」キーを押下し改行を追加してください。

Ⅳ 資料・データ一覧入力画面(シート名「根拠となる資料・データ等一覧」)



シートに保護設定を行っております。

資料・データ等の一覧にのみ行の追加・削除を許可しております。

一覧が0行になるような行の削除は行えません。

入力欄への入力は必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

「4. 入力時の注意」を参照してください。

① 内容チェックボタン

入力内容に不備がないかチェックを行うときに使用します。

② 一時保存(上書き)ボタン

作業の途中で保存するときに使用します。

一時保存した場合は、現在のファイルに上書きされます。

ただし、提出用ファイル「checklist2018.xls」は、上書きできません。

③ 最終保存ボタン

提出用ファイルを作成するときに使用します。

作成されたファイルは、「checklist2018.xls」のファイル名でデスクトップに保存されます。

④ 印刷ボタン

印刷ダイアログボックスを表示します。

⑤ 資料・データ等の一覧

白セルが入力対象となります。

⑥ 行の追加ボタン(10行追加)

選択したセルの上に10行を追加します。詳細な動作は、「10. 行の追加」を参照して下さい。

⑦ 行の追加ボタン(1行追加)

選択したセルの上に1行を追加します。詳細な動作は、「10. 行の追加」を参照して下さい。

⑧ 行の削除ボタン

選択した行を削除します。詳細な動作は、「11. 行の削除」を参照して下さい。

V 内部監査の実施状況画面(シート名「内部監査の実施状況」)

シートに保護設定を行っております。

実施状況の一覧にのみ行の追加・削除を許可しております。

一覧が0行になるような行の削除は行えません。

入力欄への入力は必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

「4. 入力時の注意」を参照してください。

① 内容チェックボタン

入力内容に不備がないかチェックを行うときに使用します。

② 一時保存(上書き)ボタン

作業の途中で保存するときに使用します。

一時保存した場合は、現在のファイルに上書きされます。

ただし、提出用ファイル「checklist2018.xls」は、上書きできません。

③ 最終保存ボタン

提出用ファイルを作成するときに使用します。

作成されたファイルは、「checklist2018.xls」のファイル名でデスクトップに保存されます。

④ 印刷ボタン

印刷ダイアログボックスを表示します。

⑤ 実施状況入力欄

白セルが入力対象となります。

⑥ 行の追加ボタン(10行追加)

選択したセルの上に10行を追加します。詳細な動作は、「10. 行の追加」を参照して下さい。

⑦ 行の追加ボタン(1行追加)

選択したセルの上に行を追加します。詳細な動作は、「10. 行の追加」を参照して下さい。

⑧ 行の削除ボタン

選択した行を削除します。詳細な動作は、「11. 行の削除」を参照して下さい。

Ⅶ 研修会・説明会の実施状況画面(シート名「研修会・説明会の実施状況」)

研修会・説明会の名称	実施日時	実施場所	説明員	参加者数	実施内容
研修会説明会名称1	11月2日	実施場所1	説明者等1	事務職員 2名	実施内容1
研修会説明会名称2	11月3日(予定)	実施場所2	説明者等2	事務職員 3名	実施内容2
研修会説明会名称3	11月4日	実施場所3	説明者等3	研究者 4名	実施内容3
研修会説明会名称4	11月5日	実施場所4	説明者等4	事務職員 5名	実施内容4
研修会説明会名称5		実施場所5	説明者等5	研究者 5名	実施内容5

シートに保護設定を行っております。

研修会・説明会の実施状況の一覧にのみ行の追加・削除を許可しております。

一覧が0行になるような行の削除は行えません。

入力欄への入力は必ずカーソルが表示されている状態からおこなってください。

「4. 入力時の注意」を参照してください。

① 内容チェックボタン

入力内容に不備がないかチェックを行うときに使用します。

② 一時保存(上書き)ボタン

作業の途中で保存するときに使用します。

一時保存した場合は、現在のファイルに上書きされます。

ただし、提出用ファイル「checklist2018.xls」は、上書きできません。

③ 最終保存ボタン

提出用ファイルを作成するときに使用します。

作成されたファイルは、「checklist2018.xls」のファイル名でデスクトップに保存されます。

④ 印刷ボタン

印刷ダイアログボックスを表示します。

⑤ 実施状況入力欄

白セルが入力対象となります。

⑥ 行の追加ボタン

選択したセルの上に10行を追加します。詳細な動作は、「10. 行の追加」を参照して下さい。

⑦ 行の追加ボタン

選択したセルの上に1行を追加します。詳細な動作は、「10. 行の追加」を参照して下さい。

⑧ 行の削除ボタン

選択した行を削除します。詳細な動作は、「11. 行の削除」を参照して下さい。

6. 一時保存(上書き)

作業中に保存する場合は、一時保存ボタンを押します。

一時保存した場合は、現在のファイルに上書きされます。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS Pゴシック 10 A A

標準 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル

挿入 削除 書式 編集

貼り付け グリッドボード フォント 配置 数値 スタイル セル 編集

B82

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることによって作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

科研費機関番号(5桁) (注2)	12345	提出日	2018/5/25
e-Rad所属機関番号(10桁) (注3)	1234567890	監事又は監事相当職による確認日	2018/5/25
		最高管理責任者による確認日	2018/5/25

(注1)本チェックリストの作成に当たっては、「体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル」を必ず参照してください。
 (注2)「科研費機関番号」欄には科学研究費助成事業(科研費)の機関番号(5桁)を記入してください。機関番号がない場合は空欄としてください。
 (注3)「e-Rad所属機関番号」欄にはe-Radで取得した所属機関番号(10桁)を記入してください。
 (注4)①～④、⑦の設問は、提出時点の状況で該当するものに、⑤、⑥は前年度の実績で該当するものにチェックしてください。
 (注5)⑤～⑦の設問は、研究分担者として配分を受けたものも含めてください。

研究機関の名称	研究機関名称		
所在地	〒 012 - 3456	機関所在地1-1-1	
最高管理責任者の 職名・氏名	責任者氏名		

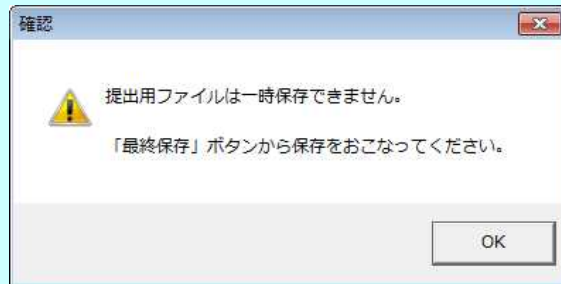
担当者連絡先	課・係等名	担当課係等名	氏名	担当者	氏名
	電話番号	00-0000-1234	FAX	00-0000-1235	E-mail tanto@email.emal.XXX

1	国立大学	
2	公立大学	

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正 ...

準備完了

提出用ファイル「checklist2018.xls」を
一時保存しようとするすると右のダイアログが
表示されます。



提出用ファイルの一時保存はできません。最終保存をおこなってください。

7. 内容チェック

① 内容チェック実行

回答入力後、内容チェックボタンを押して、内容チェックします。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

科研費機関番号(5桁)(注2)	12345	提出日	2018/5/25
e-Rad所属機関番号(10桁)(注3)	1234567890	監事又は監事相当職による確認日	2018/5/25
		最高管理責任者による確認日	2018/5/25

(注1)本チェックリストの作成に当たっては、「体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル」を必ず参照してください。
 (注2)「科研費機関番号」欄には科学研究費助成事業(科研費)の機関番号(5桁)を記入してください。機関番号がない場合は空欄としてください。
 (注3)「e-Rad所属機関番号」欄にはe-Radで取得した所属機関番号(10桁)を記入してください。
 (注4)①～④、⑥の設問は、提出時点の状況で該当するものに、⑤、⑦は前年度の実績で該当するものにチェックしてください。
 (注5)⑧～⑨の設問は、研究分担者として配分を受けたものも含めてください。

研究機関の名称	研究機関名称		
所在地	〒 012	- 3456	機関所在地1-1-1
最高管理責任者の 職名・氏名	責任者氏名		

担当者連絡先	課・係等名	担当課係等名	氏名	担当者 氏名
電話番号	00-0000-1234	FAX	00-0000-1235	E-mail tanto@email.com XXX

1 国立大学
2 公立大学

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正 ...

準備完了

内容に不備がある場合は、エラー内容が赤字にて表示されます。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

科研費機関番号(5桁)(注2)		提出日	
e-Rad所属機関番号(10桁)(注3)		監事又は監事相当職による確認日	
		最高管理責任者による確認日	

最高管理責任者による確認日を入力してください。

(注1)本チェックリストの作成に当たっては、「体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル」を必ず参照してください。
 (注2)「科研費機関番号」欄には科学研究費助成事業(科研費)の機関番号(5桁)を記入してください。機関番号がない場合は空欄としてください。
 (注3)「e-Rad所属機関番号」欄にはe-Radで取得した所属機関番号(10桁)を記入してください。
 (注4)①～④、⑥の設問は、提出時点の状況で該当するものに、⑤、⑦は前年度の実績で該当するものにチェックしてください。
 (注5)⑧～⑨の設問は、研究分担者として配分を受けたものも含めてください。

研究機関の名称			
所在地	〒	-	
最高管理責任者の 職名・氏名			

最高管理責任者の職名・氏名を入力してください。

担当者連絡先	課・係等名	担当課係等名	氏名	担当者 氏名
電話番号		FAX		E-mail

メールアドレスを入力してください。競争的資金等の配分状況が入力されていません。

1 国立大学

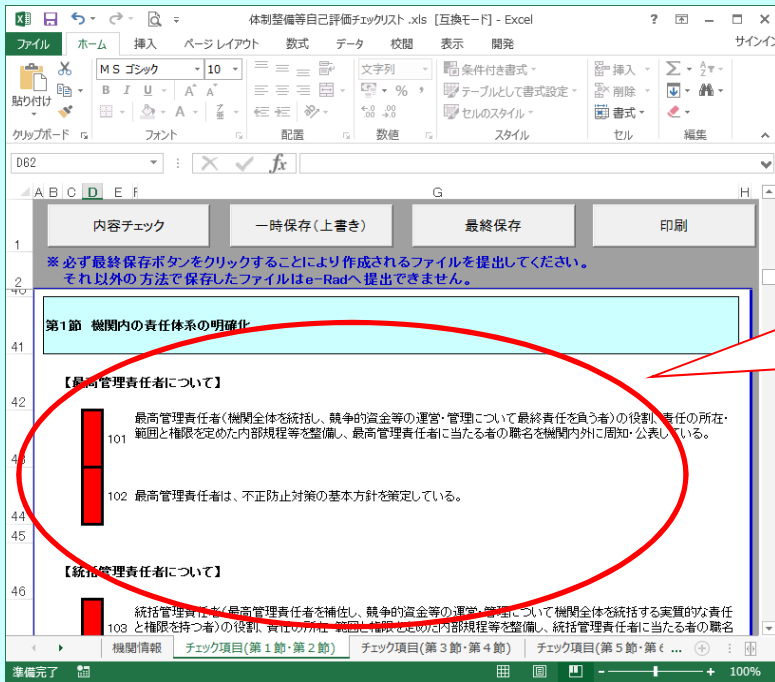
機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正 ...

準備完了

機関情報シートエラー例

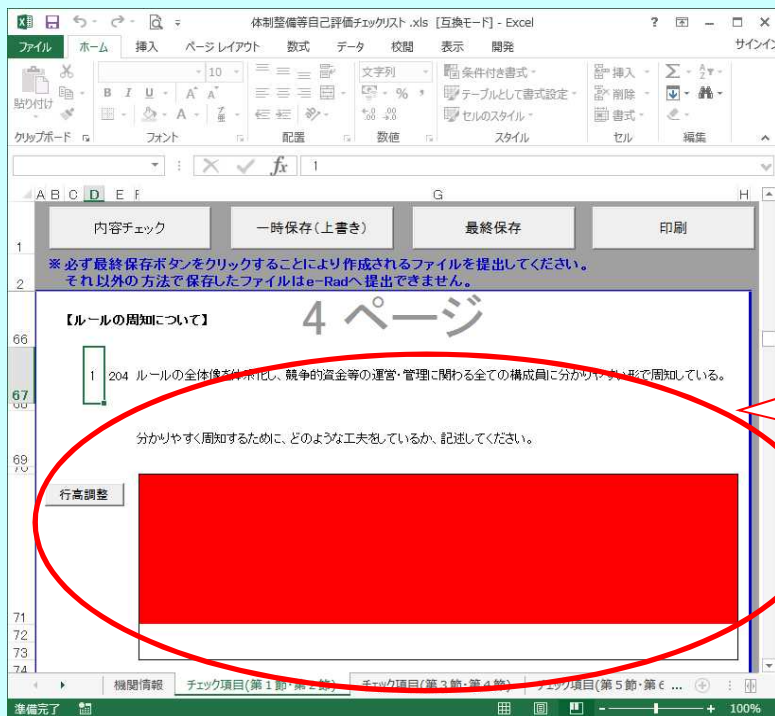
必須項目が非入力か
入力ミスがあると背
景色が赤く表示され
ます。
ラジオボタンが入力さ
れていないとチェック
項目の背景色が赤く
表示されます。

体制整備等自己評価チェックリスト



チェック項目シートエラー例①

チェック項目に入力がされていないと背景色が赤く表示されます。



チェック項目シートエラー例②

チェック項目が1で記述欄が入力されていないと記述欄が赤く表示されます。

② 内容不備修正

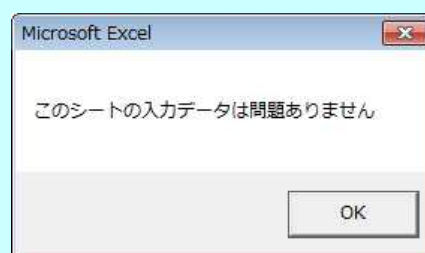
エラー内容を確認の上、エラー箇所の修正を行ってください。

修正が終了したら、再度7. ①を実行してください。

※注意 エラーがある状態では最終保存(提出用ファイルの作成)ができません。

③ 正しい回答の場合は、下記のダイアログが表示されます。

OKボタンを押します。



8. 提出用ファイル作成

① 最終保存

内容に不備が無いことを確認後、選択します。

こちらのボタンを押すと自動で提出用ファイルを作成します。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS ゴシック 10 A⁺ A⁺

貼り付け グループボード フォント 配置 数値 スタイル セル 編集

B82

内容チェック 一時保存(上書き) **最終保存** 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

科研費機関番号(6桁) (注2)	12345	提出日	2018/5/25
e-Rad所属機関番号(10桁) (注3)	1234567890	監事又は監事相当職による確認日	2018/5/25
		最高管理責任者による確認日	2018/5/25

(注1)本チェックリストの作成に当たっては、「体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル」を必ず参照してください。
 (注2)「科研費機関番号」欄には科学研究費助成事業(科研費)の機関番号(5桁)を記入してください。機関番号がない場合は空欄としてください。
 (注3)「e-Rad所属機関番号」欄にはe-Radで取得した所属機関番号(10桁)を記入してください。
 (注4)①～④の設問は、提出時点の状況で該当するものに、⑤、⑥は前年度の実績で該当するものにチェックしてください。
 (注5)⑦～⑨の設問は、研究分担者として配分を受けたものも含めてください。

研究機関の名称	研究機関名称		
所在地	〒 012 - 3456	機関所在地1-1-1	
最高管理責任者の 職名・氏名	責任者氏名		

担当者連絡先	課・係等名	担当課係等名	氏名	担当者 氏名
	電話番号	00-0000-1234	FAX	00-0000-1235
			E-mail	tanto@email@emailXXX

1	国立大学	
2	公立大学	

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正... 100%

内容に不備がある場合は、不備があるシート見出しが赤くなります。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 サインイン

MS ゴシック 10 A⁺ A⁺

貼り付け グループボード フォント 配置 数値 スタイル セル 編集

D47

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

第1節 機関内の責任体系

【最高管理責任者について】

101	最高管理責任者 範囲と権限を
2	102 最高管理責任者は、不正防止対策の基本方針を策定している。

Microsoft Excel

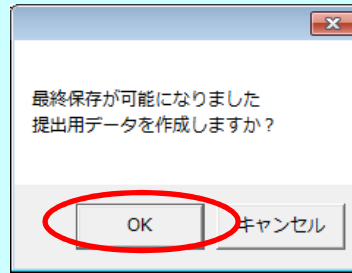
入力に不備があります。
見出しが赤くなっているシート内に表示されている赤い項目をご確認下さい。

OK

責任の所在・
している。

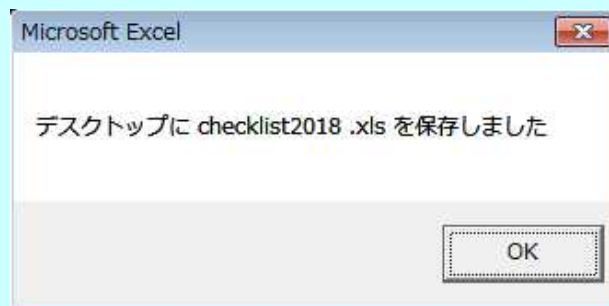
機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正... 100%

内容に問題が無い場合は、下記のダイアログが表示されます。
OKボタンを押してください。



下記のダイアログが表示されます。OKボタンを押してください。
自動的に提出用エクセルデータが「checklist2018 .xls」のファイル名でデスクトップに保存されます。

※注意 ファイル名の最後に半角スペースが自動的に入ります。



注意: e-Rad にアップロードしたファイルの修正が必要な場合は、
文部科学省競争的資金調整室 03-5263-4111 (内線:3866,3827)まで
ご連絡ください。

注意: 提出用エクセルファイル名及び内容は変更しないでください。
変更すると、アップロードできません。
内容を変更する場合は元ファイルを修正した上で、新たに提出用エクセル
ファイルを作成してください。

セキュリティの設定変更を行った方へ
全ての提出ファイル作成後は、元の設定に変更することを推奨します。

9. 印刷

① 印刷ダイアログボックス表示

印刷したい場合、印刷ボタンをクリックします。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

MS Pゴシック 10 A A

標準 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル

挿入 削除 書式 編集

グループボックス

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Radへ提出できません。

科研費機関番号(5桁)(注2)	12345	提出日	2018/5/25
e-Rad所属機関番号(10桁)(注3)	1234567890	監事又は監事相当職による確認日	2018/5/25
		最高管理責任者による確認日	2018/5/25

①本チェックリストの作成に当たっては、「体制整備等自己評価チェックリスト 操作マニュアル」を必ず参照してください。
②「科研費機関番号」欄には科学研究費助成事業(科研費)の機関番号(5桁)を記入してください。機関番号がない場合は空欄としてください。
③「e-Rad所属機関番号」欄にはe-Radで取得した所属機関番号(10桁)を記入してください。
④①～④、⑥の設問は、提出時点の状況で該当するものに、⑤、⑥は前年度の実績で該当するものにチェックしてください。
⑤⑤～⑥の設問は、研究分担者として配分を受けたものも含めてください。

研究機関の名称	研究機関名称		
所在地	〒 012 - 3456	機関所在地1-1-1	
最高管理責任者の 職名・氏名	責任者氏名		
担当者連絡先	課・係等名	担当課係等名	氏名 担当者 氏名
	電話番号	00-0000-1234 FAX 00-0000-1235 E-mail	tanto@email@email.XXX

1	国立大学	
2	公立大学	

機関情報 チェック項目(第1節・第2節) チェック項目(第3節・第4節) チェック項目(第5節・第6節) 不正 ...

準備完了 100%

印刷ダイアログボックスが表示されますので、印刷したい場合はOKボタンを押してください。

印刷

プリンター

名前(M): ¥¥work001¥¥Canon LBP-1510

状態: アイドル

種類: Canon LASER SHOT LBP-1510

場所: LPT1

コメント:

印刷範囲

☒ すべて(A)

☐ ページ指定(G) 開始(E): 終了(F):

印刷対象

☐ 選択した部分(N)

☐ ブック全体(E)

☐ 選択したシート(V)

☐ テーブル(B)

☐ 印刷範囲を無視(P)

印刷部数

部数(C): 1

☐ ファイルへ出力(L)

☒ 部単位で印刷(O)

印刷プレビュー(W) OK キャンセル

印刷物のフッター部分(ページ下部)にシート名、ページ番号、総ページ数が印刷されます。
なお、ページ番号と総ページ数は、印刷対象(特定のシートを選択して印刷するか、ブック全体を選択して印刷するか)に応じて変動します。

チェック項目(第1節・第2節) 5/10

10. 行の追加

行の追加には、「行の追加(10行追加)」ボタンと「行の追加(1行追加)」ボタンがあり、追加される行数が異なります。

① 行が追加される位置

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

行追加前

行追加は、選択されたセルの上に行が追加されます。

10行追加後

1ページ

1行追加後

No.	項目番号	根拠となる資料・データ等の名称	機関ホームページのURL
1	102	資料1	http://www.AAAA.ac.jp
2	103	資料2	http://www.BBBBBB.co.jp
3	411	資料3	
4	412	データ1	
5	413	データ2	
6	601	その他1	
7	602	その他2	

体制整備等自己評価チェックリスト

② 行の選択

挿入したい行を選択します。

行追加が可能なセルが選択されている場合、ボタンが押せるようになります。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

MS Pゴシック 11 A A

貼り付け B I U 背景色 文字列 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル 罫線 削除 書式 並べ替えとフィルター 検索と選択

B20

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Readへ提出できません。

※科学研究費助成事業(科研費)に応募する機関のみ作成してください。

内部監査の実施状況

1 チェックリスト提出年度の前年度に研究機関において管理した科研費の課題数・金額、チェックリスト提出年度に監査を実施した(予定を含む)課題数及び監査対象課題の選定方法について記入してください。
なお、「研究機関において管理した」とは、配分された競争的資金等について、研究機関の長の責任の下に執行され、研究機関において証拠書類を保管していることをいいます。

前年度に管理した科研費の課題数			前年度に管理した科研費の直接経費の金額(単位:円)			監査実施課題数	選定方法(例:取引先が特定の業者に偏っている課題、支出が年度末に偏っている課題)
研究代表者分	研究分担者分	計	研究代表者分	研究分担者分	計		
2	1	3	100,000	200,000	300,000	2	選定方法1

2 内部監査の結果、問題のあることが判明した場合、その対応状況について具体的に記載してください。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

問題の具体的な内容	対応状況	対応の具体的な内容
問題1	対応中	

3 チェックリスト提出年度に実施した又は実施予定の内部監査の実施状況について記入してください。
なお、特別監査は、通常監査の一部について、書類上には止まらず、実際の研究費使用状況や納品状況等の重要関係の厳密な確認などを行うものをいいます。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

実施期間	実施者	監査実施課題数	監査の内容・結果	監査実施課題数	特別監査の内容・結果
9/1~9/17	実施者1	2	監査の内容・結果1	1	特別監査の内容・結果1
10/1~10/10	実施者2	3	監査の内容・結果2	2	特別監査の内容・結果2

不正防止のための実効性ある取組事例 根拠となる資料・データ等一覧 内部監査の実施状況 研修会・説明会の実施状況

準備完了 SCROLLLOCK 70%

③ 行の追加

行の追加(10行追加)、または、行の追加(1行追加)ボタンをクリックします。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

MS Pゴシック 11 A A

貼り付け B I U 背景色 文字列 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル 罫線 削除 書式 並べ替えとフィルター 検索と選択

B20

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Readへ提出できません。

※科学研究費助成事業(科研費)に応募する機関のみ作成してください。

内部監査の実施状況

1 チェックリスト提出年度の前年度に研究機関において管理した科研費の課題数・金額、チェックリスト提出年度に監査を実施した(予定を含む)課題数及び監査対象課題の選定方法について記入してください。
なお、「研究機関において管理した」とは、配分された競争的資金等について、研究機関の長の責任の下に執行され、研究機関において証拠書類を保管していることをいいます。

前年度に管理した科研費の課題数			前年度に管理した科研費の直接経費の金額(単位:円)			監査実施課題数	選定方法(例:取引先が特定の業者に偏っている課題、支出が年度末に偏っている課題)
研究代表者分	研究分担者分	計	研究代表者分	研究分担者分	計		
2	1	3	100,000	200,000	300,000	2	選定方法1

2 内部監査の結果、問題のあることが判明した場合、その対応状況について具体的に記載してください。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

問題の具体的な内容	対応状況	対応の具体的な内容
問題1	対応中	

3 チェックリスト提出年度に実施した又は実施予定の内部監査の実施状況について記入してください。
なお、特別監査は、通常監査の一部について、書類上には止まらず、実際の研究費使用状況や納品状況等の重要関係の厳密な確認などを行うものをいいます。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

実施期間	実施者	監査実施課題数	監査の内容・結果	監査実施課題数	特別監査の内容・結果
9/1~9/17	実施者1	2	監査の内容・結果1	1	特別監査の内容・結果1
10/1~10/10	実施者2	3	監査の内容・結果2	2	特別監査の内容・結果2

不正防止のための実効性ある取組事例 根拠となる資料・データ等一覧 内部監査の実施状況 研修会・説明会の実施状況

準備完了 SCROLLLOCK 70%

11. 行の削除

① 行の選択

削除したい行を選択します。

行削除が可能なセルが選択されている場合、ボタンが押せるようになります。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

内部監査の実施状況

1 チェックリスト提出年度の前年度に研究機関において管理した科研究の課題数・金額、チェックリスト提出年度に監査を実施した(予定を含む)課題数及び監査対象課題の選定方法について記入してください。
なお、「研究機関において管理した」とは、配分された競争的資金等について、研究機関の長の責任の下に執行され、研究機関において証拠書類を保管していることをいいます。

前年度に管理した科研究の課題数			前年度に管理した科研究の経費総額の金額(単位:円)			監査実施課題数	選定方法
研究代表者分	研究分担者分	計	研究代表者分	研究分担者分	計		
2	1	3	100,000	200,000	300,000	2	選定方法1

2 内部監査の結果、問題のあることが判明した場合は、その対応状況について具体的に記載してください。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) **行の削除** (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

問題の具体的な内容	対応状況	対応の具体的な内容
問題1	対応中	

3 チェックリスト提出年度に実施した又は実施予定の内部監査の実施状況について記入してください。
なお、特別監査は、通常監査の一部について、書類上には止まらず、実際の研究費使用状況や納品状況等の事業関係の厳密な確認などを含むものをいいます。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

通常監査		特別監査	
実施期間	実施者	監査実施課題数	監査の内容・結果
9/1~9/7	実施者1	2	監査の内容結果1
10/1~10/10	実施者2	3	監査の内容結果2

準備完了 SCROLLLOCK

② 行の削除

行の削除ボタンをクリックします。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

内部監査の実施状況

1 チェックリスト提出年度の前年度に研究機関において管理した科研究の課題数・金額、チェックリスト提出年度に監査を実施した(予定を含む)課題数及び監査対象課題の選定方法について記入してください。
なお、「研究機関において管理した」とは、配分された競争的資金等について、研究機関の長の責任の下に執行され、研究機関において証拠書類を保管していることをいいます。

前年度に管理した科研究の課題数			前年度に管理した科研究の経費総額の金額(単位:円)			監査実施課題数	選定方法
研究代表者分	研究分担者分	計	研究代表者分	研究分担者分	計		
2	1	3	100,000	200,000	300,000	2	選定方法1

2 内部監査の結果、問題のあることが判明した場合は、その対応状況について具体的に記載してください。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) **行の削除** (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

問題の具体的な内容	対応状況	対応の具体的な内容
問題1	対応中	

3 チェックリスト提出年度に実施した又は実施予定の内部監査の実施状況について記入してください。
なお、特別監査は、通常監査の一部について、書類上には止まらず、実際の研究費使用状況や納品状況等の事業関係の厳密な確認などを含むものをいいます。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

通常監査		特別監査	
実施期間	実施者	監査実施課題数	監査の内容・結果
9/1~9/7	実施者1	2	監査の内容結果1
10/1~10/10	実施者2	3	監査の内容結果2

準備完了 SCROLLLOCK

体制整備等自己評価チェックリスト

行が1行の時には行の削除は行えません。

体制整備等自己評価チェックリスト.xls [互換モード] - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

サインイン

貼り付け グループボード フォント 配置 数値 スタイル セル

問題1

内容チェック 一時保存(上書き) 最終保存 印刷

※必ず最終保存ボタンをクリックすることにより作成されるファイルを提出してください。
それ以外の方法で保存したファイルはe-Readへ提出できません。

※科学研究費助成事業(科研究)に応募する機関のみ作成してください。

内部監査の実施状況

1 チェックリスト提出年度の前年度に研究機関において管理した科研究の課題数・金額、チェック
なお、「研究機関において管理した」とは、配分された競争的資金等について、研究機関の長の
承認を得たものである。

前年度に管理した科研究の課題数		前年度に管理した科研究の直接経費	
研究代表者分	研究分担者分	研究代表者分	研究分担者分
2	1	3	計
		100,000	200,000

2 内部監査の結果、問題のあることが判明した場合は、その対応状況について具体的に記載してください。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

問題の具体的な内容	対応状況	対応の具体的な内容
問題1	対応中	

3 チェックリスト提出年度に実施した又は実施予定の内部監査の実施状況について記入してください。
なお、特別監査は、通常監査の一部について、書類上にとまらず、実際の研究費使用状況や納品状況等の事実関係の厳密な確認などを行うものをいいます。

行の追加(10行追加) 行の追加(1行追加) 行の削除 (行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

実施期間	実施者	監査実施課題数	通常監査	監査の内容・結果	監査実施課題数	特別監査の内容・結果
9/1~9/7	実施者1	2	監査の内容・結果1	1	特別監査の内容・結果1	
10/1~10/10	実施者2	3	監査の内容・結果2	2	特別監査の内容・結果2	

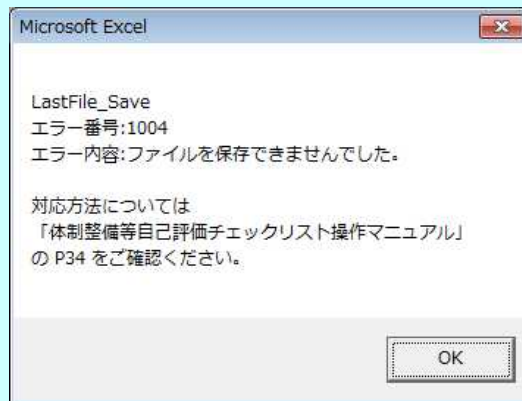
不正防止のための実効性ある取組事例 根拠となる資料・データ等一覧 内部監査の実施状況 研修会・説明会の実施状況

準備完了 SCROLL LOCK 70%

Microsoft Excel 入力行数を0行にすることはできません

12. 最終保存時にエラーが発生した場合の対応【Microsoft Excel2007、2010、2013、2016】

【Microsoft Excel2007、2010、2013、2016】を使用し、提出用ファイルを作成しており、最終保存時に、以下のダイアログが表示され、提出用ファイルが作成できない場合は、下記の手順でファイルを保存し直してください。 ※エラーが解消されない場合もあります。



【Microsoft Excel2007、Microsoft Excel2010 手順】

※チェックリストがデスクトップに保存されている状態でおこなってください。共有フォルダ上などでのチェックリストの作成はおこなわないでください。

※ファイルの保存を数回おこないます。同名のファイルがある場合は、上書きせずにわかりやすいファイル名をつけ、保存してください。

① バックアップの作成

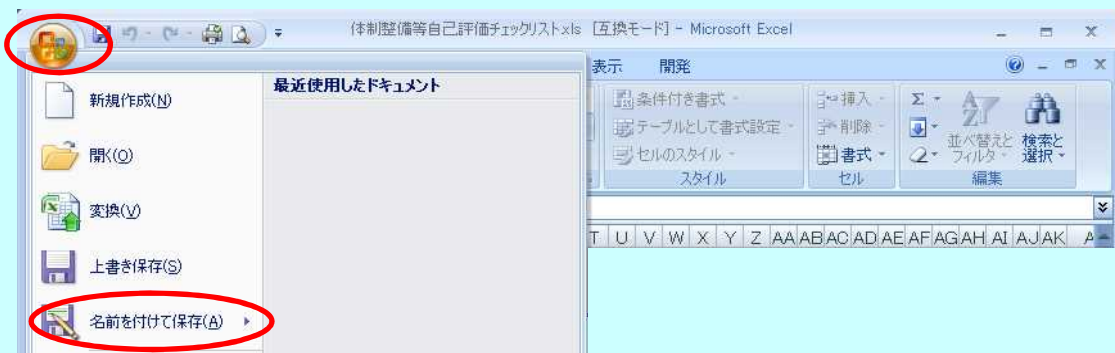
作成中のチェックリストを閉じ、バックアップをとってください。

② マクロ有効ブック形式に保存

【Microsoft Excel2007】

チェックリストを開き、「office ボタン」をクリックします。

表示されたメニュー内の「名前を付けて保存」をクリックします。

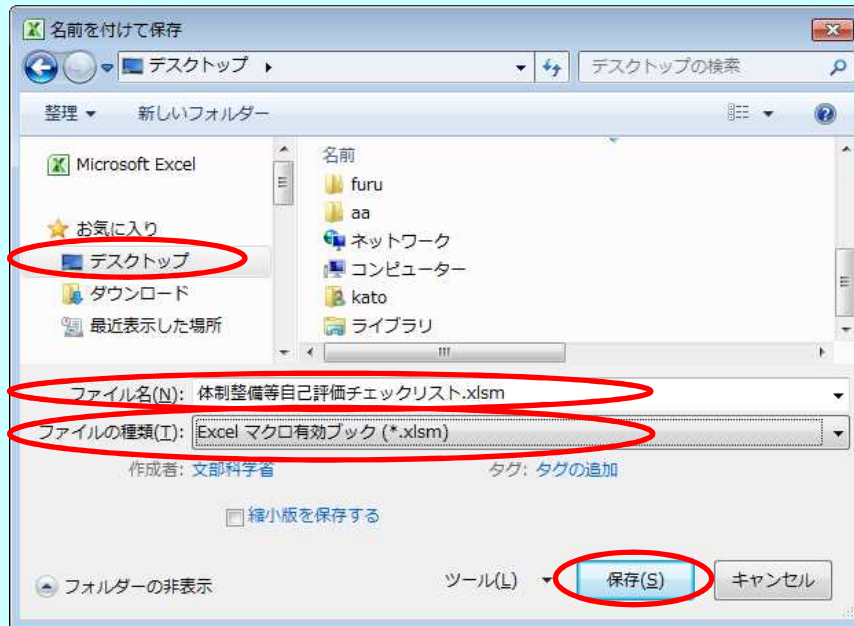


【Microsoft Excel2010】

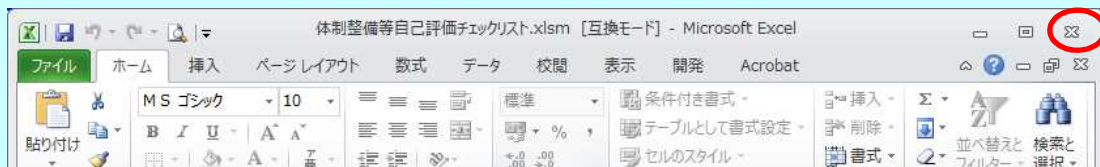
チェックリストを開き、「ファイルタブ」内の「名前を付けて保存」をクリックします。



ダイアログが表示されますので、ファイルの種類は「Excel マクロ有効ブック(*.xlsm)」を指定し、デスクトップ上に保存します。



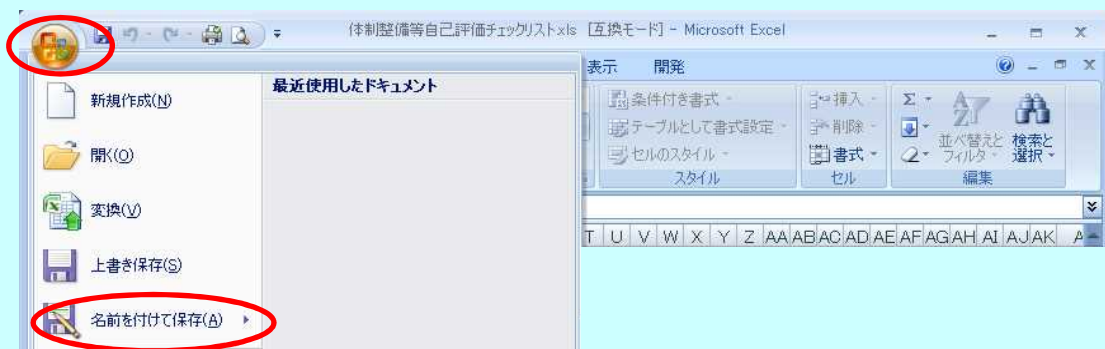
開いているチェックリストの右上の「×」ボタンをクリックし、チェックリストを閉じます。



③ エクセル97-2003ブック形式へ保存

【Microsoft Excel2007】

②で保存をおこなったデスクトップ上の「Excel マクロ有効ブック」ファイル(拡張子 xlsm)を開き、「office ボタン」をクリックします。表示されたメニュー内の「名前を付けて保存」をクリックします。

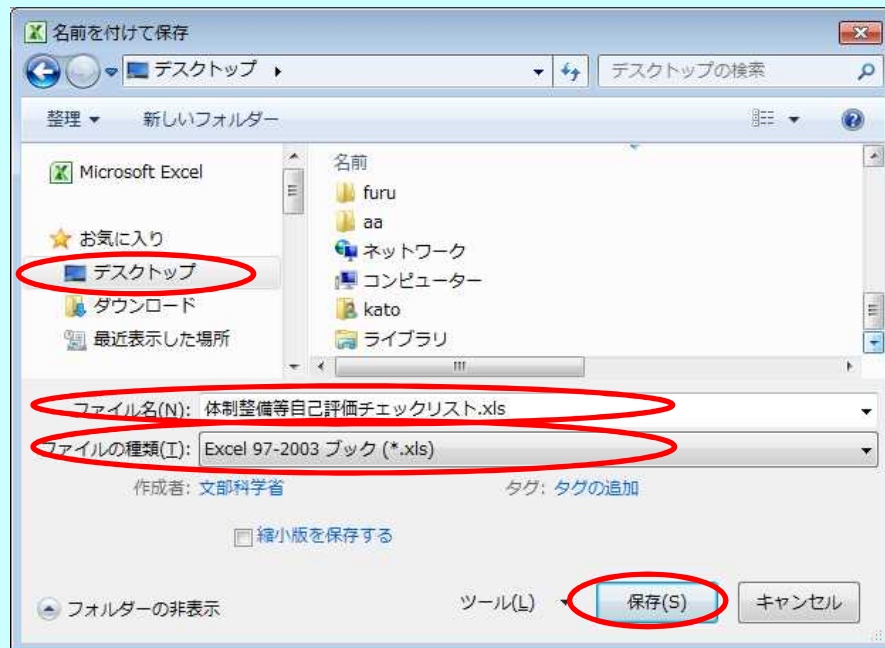


【Microsoft Excel2010】

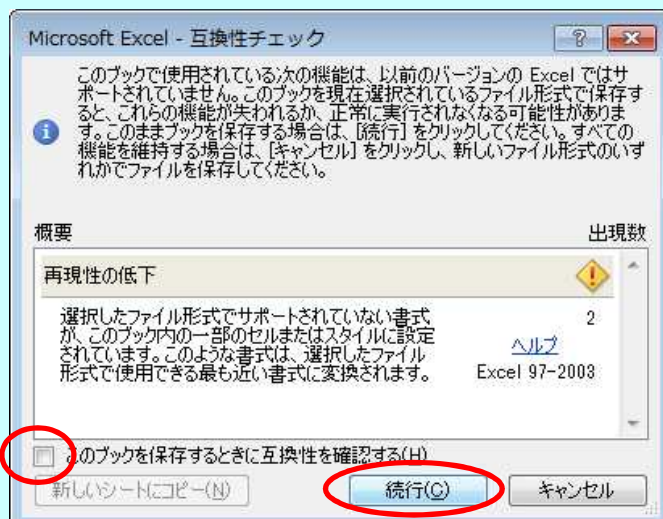
②で保存をおこなったデスクトップ上の「Excel マクロ有効ブック」ファイル(拡張子 xlsx)を開き、「ファイルタブ」内の「名前を付けて保存」をクリックします。



ダイアログが表示されますので、ファイルの種類は「Excel 97-2003 ブック(*.xls)」を指定し、デスクトップ上に保存します。



保存中に、互換性チェックのダイアログボックスが表示されることがありますが、「このブックを保存するときに互換性を確認する」チェックボックスをオフにして、「続行」をクリックしてください。



体制整備等自己評価チェックリスト

開いているチェックリストの右上の「×」ボタンをクリックし、チェックリストを閉じます。



④ チェックリストの最終保存

③で保存をおこなったデスクトップ上の「Excel 97-2003 ブック」ファイル(拡張子 xls)を開き、最終保存ボタンをクリックし、提出用ファイルが作成されるか、確認をおこなってください。

【Microsoft Excel2013、Microsoft Excel2016 手順】

※チェックリストがデスクトップに保存されている状態でおこなってください。共有フォルダ上などでのチェックリストの作成はおこなわないでください。

※ファイルの保存を数回おこないます。同名のファイルがある場合は、上書きせずにわかりやすいファイル名をつけ、保存してください。

① バックアップの作成

作成中のチェックリストを閉じ、バックアップをとってください。

② マクロ有効ブック形式に保存

チェックリストを開き、「ファイルタブ」をクリックします。



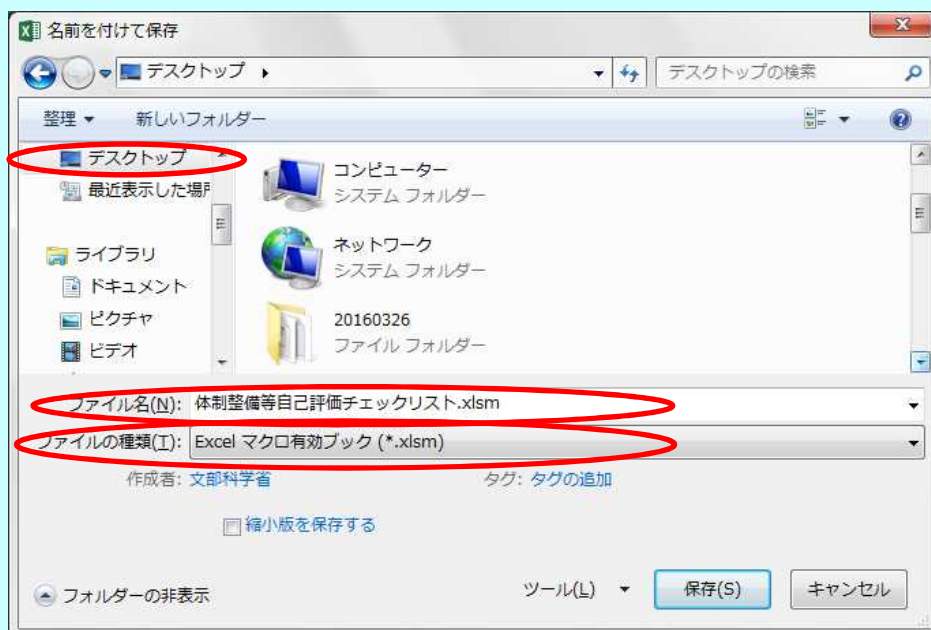
表示されたタブ内の「名前を付けて保存」をクリックします。

「参照」ボタンをクリックします。

ファイルの種類は「Excel マクロ有効ブック(*.xlsm)」を指定し、デスクトップ上に保存します。



ダイアログが表示されますので、ファイルの種類は「Excel マクロ有効ブック(*.xlsm)」を指定し、デスクトップ上に保存します。



体制整備等自己評価チェックリスト

開いているチェックリストの右上の「×」ボタンをクリックし、チェックリストを閉じます。



③ エクセル97-2003ブック形式へ保存

②で保存をおこなったデスクトップ上の「Excel マクロ有効ブック」ファイル(拡張子 xlsm)を開き、「ファイルタブ」をクリックします。

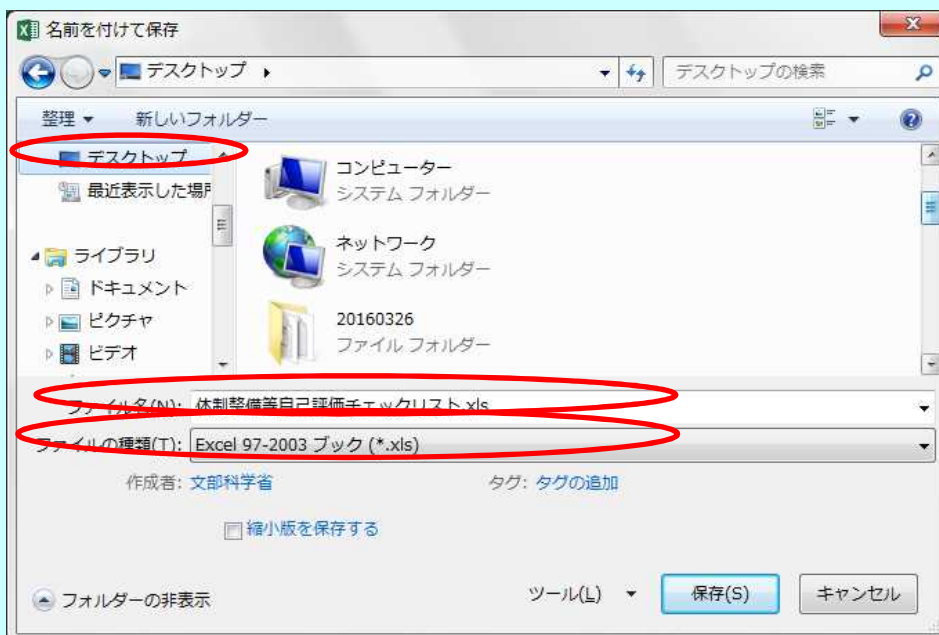


表示されたタブ内の「名前を付けて保存」をクリックします。

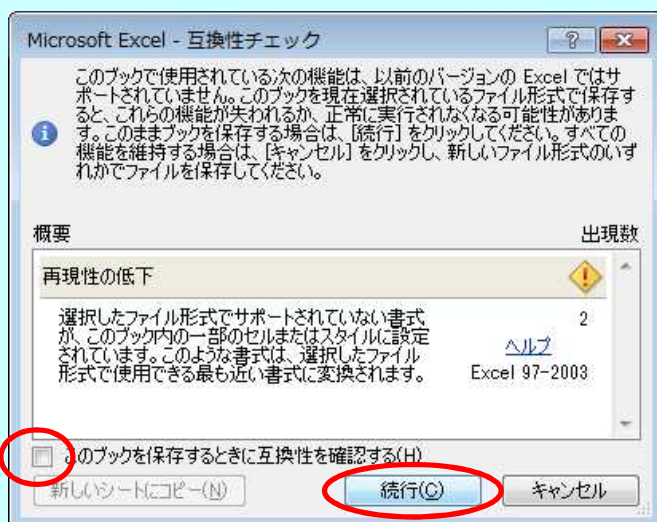
「参照」ボタンをクリックします。



ダイアログが表示されますので、ファイルの種類は「Excel 97-2003 ブック(*.xls)」を指定し、デスクトップ上に保存します。



保存中に、互換性チェックのダイアログボックスが表示されることがありますが、「このブックを保存するときに互換性を確認する」チェックボックスをオフにして、「続行」をクリックしてください。



開いているチェックリストの右上の「×」ボタンをクリックし、チェックリストを閉じます。



④ チェックリストの最終保存

③で保存をおこなったデスクトップ上の「Excel 97-2003 ブック」ファイル(拡張子 xls)を開き、最終保存ボタンをクリックし、提出用ファイルが作成されるか、確認をおこなってください。

13. 操作に関するお問い合わせ先 ※内容によりお問合せ先が異なります。

・e-Radの操作方法に関するお問合せ

府省共通研究開発管理システム (e-Rad) ヘルプデスク

電 話 : 0570-066-877 受付時間 : 9:00~18:00 (平日)

(土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)を除く。)

・チェックリスト(添付資料1および添付資料2を除く)の内容、作成方法及び修正等に関するお問合せ

文部科学省 研究振興局 振興企画課 競争的資金調整室

E-mail : kenkyuhi@mext.go.jp

電 話 : 03-5253-4111 (内線 : 3866、3827)

(お問合せは、可能な限りE-mailでお願いします。)

・チェックリスト(添付資料1および添付資料2)に関するお問合せ

文部科学省 研究振興局 学術研究助成課企画室 指導係

E-mail : gakjokik@mext.go.jp

電 話 : 03-5253-4111 (内線 : 4325、4095、4328)

(お問合せは、可能な限りE-mailでお願いします。)